

 <p>開校明治七年 開校147年目</p>	<h1>宗岡小だより</h1> <p>学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 心も体も元気な子</p>	<p>めざす学校像 「子供達一人一人の居場所があり、輝ける学校」 「安全・安心できれいな学校」</p>	<p>1月の生活目標 さむさに負けずに がんばろう ・外で元気に遊ぼう ・風邪の予防をしよう</p>
		<p>令和4年1月号 志木市立宗岡小学校 児童数453名・学級数18学級 住所 志木市中宗岡3-1-1 TEL 048-471-0307</p>	
<p>基本理念「自分がすき 友だちがすき 町がすきな 宗小の子」</p>			

全ては基礎から始まる

校長 石田 賢一

新年あけましておめでとうございます。本年も宗岡小学校をどうぞよろしく願いいたします。また、令和4年が宗岡小学校の子供達やそのご家族、地域の皆様にとって素晴らしい年となりますことを心より祈っております。

昨年の緊急事態宣言解除後は新型コロナウイルスの感染者数が少ない状況で移行してきましたが、新年を迎えてからオミクロン株の影響もあり、急激に感染が広がっています。本校では、今まで通りマスクの着用、手洗いの徹底、ソーシャルディスタンスの確保といった感染対策を継続してまいります。

各ご家庭におかれましても引き続き朝夕の検温の確実な実施をお願いします。もし、児童本人やご家族の体調が悪かったり、風邪症状が見られたりした場合は、登校は控えていただき、医療機関での受診等のご協力をお願いいたします。

また、新型コロナウイルスの新規感染者数が埼玉県において急激に増加した場合には一昨年の4月、5月のように臨時休業となる可能性もございます。その際には、児童一人一人に配付されているiPadを活用した授業等を実施することとなります。

皆さんは、北里柴三郎という人物をご存じでしょうか。北里柴三郎は、1853年に熊本県の庄屋の長男に生まれ、熊本医学校、東京大学医学部を卒業後、内務省衛生局に勤務しました。1886年にドイツに留学し、世界的に有名な細菌学者であるコッホに師事しました。1889年には世界初の破傷風菌培養に成功しました。ドイツから帰国後は伝染病研究所長を務めました。1915年に北里研究所を設立し、1917年には慶応義塾大学医学科創設に尽力しました。



北里柴三郎は破傷風の血清療法を確立したことで、第一回ノーベル生理学・医学賞の候補者にもなっています。また、研究者だけでなく教育者としてもすぐれており、赤痢菌発見者の志賀潔や黄熱病の研究で知られている野口英世などの優秀な弟子を育てています。これらの功績により、2024年に発行される新千円札の肖像画に採用されました。

さて、北里柴三郎の言葉に「大業を成さんとするなら、各人がそのための基礎を固めるべきであり、その基礎とは自分自身の勉強です。どんなに志があっても力がなければ他人はその人を信頼しない。」というのがあります。これは、何かを成し遂げるために一番大切なことは、必要な基礎的な力を身に付けることであり、その基礎的な力を身に付けるために必要なものは勉強することであるということです。

3学期の始業式で、子供達に「一年の計は元旦にあり」という話をし、児童各自で達成したいことを強く思い、その実現に向けて頑張ってもらいたいと伝えました。そして、北里柴三郎の言葉を引用し、目標達成の一番の近道はしっかりと学習に取り組み、基礎を固めることであると話しました。

子供達の中には、勉強する意義が見つからず意欲的に学習に取り組めない子供もいると思います。ご家庭においても今学習していることがきっと子供達が目指している未来を実現するために絶対に役立つことを伝えていただき、子供達のモチベーションの維持・向上にご協力いただきますよう、お願いいたします。